

平成25年度会津大学外国人留学生後援会 (SAISUA) 事業報告

SAISUA では入学直後で生活が安定しない外国人留学生を対象に、奨学金の支給及び国民健康保険料の一部補助を行っています。また、留学生が学内や地域で孤立することなく、明るい学生生活を送れるように、学内での活動や地域の小学校との交流活動等を実施しています。

SAISUA 生活支援事業

《生活支援》

奨学金の支給： 前期 5名 (@20,000円×6ヶ月)

後期 5名 (@20,000円×6ヶ月)

*内訳： 中国のべ4名、ベトナムのべ2名、スリランカのべ2名、
チュニジアのべ2名

SAISUA より奨学金を授与された留学生は、会津大学の行事や地域のイベントに参加し、以下のような国際交流活動等を担当することが義務づけられています。

- ・地域の小学校を訪問し、自国の紹介を行うこと
- ・大学訪問者のキャンパス見学での案内をすること
- ・会津大学の学園祭で、国際交流活動等を紹介すること
- ・会津大学国際戦略本部が企画・運営する各種活動でボランティアに従事すること 他



SAISUA 関連行事 (学内・地域交流活動)

《ウェルカム・アワー (歓迎親睦会)》

日時：平成25年 5月9日 (木)

平成25年 11月20日 (水)

場所：会津大学厚生棟2階「樺」

4月に入学した留学生と新任の教職員を歓迎するウェルカム・アワーを、5月9日にSAISUAと国際戦略本部の共催で開催しました。

角山学長、国際戦略本部長の岩瀬理事、SAISUA会長のホウ准教授をはじめ、会津大学で初めてとなるキルギスとドイツからの留学生など、44名の学生と教職員が集まりました。今回は、昨年結成された学生のコーラスサークルから歓迎の曲が披露され、親睦会は大変盛り上がりしました。

11月20日に開催された第2回目のウェルカム・アワーには、10月に中国、ベトナム、台湾から大学院に入学した15名の留学生の他、ローズハルマン工科大学からの交換留学生も加わり、日本人学生と教職員あわせて約40名が参加しました。前回に引き続きSAISUA会長のホウ准教授が司会を務め、留学生と日本人学生との間で、積極的な交流が図られました。

歓迎親睦会として開催された春と秋の2回のウェルカム・アワーともに、参加者同士が楽しく親交を深め、



予定の時間が過ぎても多くの参加者がなかなか会場を後にしないほど、話の種が尽きないようでした。

《留学生と日本人学生の交流活動》

日時：平成25年6月9日（日）

場所：飯盛山とその周辺

会津大学の日本人学生が主体的に企画した国際交流活動として、留学生に会津若松の魅力を紹介する活動に、SAISUAが支援を行いました。

幕末の戦乱の中、白虎隊の悲劇が起こった場所として広く知られている飯盛山で会津の歴史に触れるとともに、日本人学生たちのガイドのもとで、国の重要文化財で特異な木造仏堂である“さざえ堂”にも訪れ、日本文化の神秘を体感することができました。



《会津大学学園祭「蒼翔祭」での活動》

日時：平成25年10月12日（土）・13日（日）

場所：会津大学キャンパス 模擬店会場（屋外）・

フリーマーケット会場（管理棟ロビー）

今年度の学園祭では、SAISUAが初めて模擬店の出店の企画・運営に携わりました。SAISUA前会長のロジスキーご夫妻とSAISUA会長のホウ准教授が中心となり、会津大学の教員の御家族と留学生が協力し、多国籍料理の販売と、各家庭から持ち寄った衣料品、雑貨、本などの販売をフリーマーケットにて行いました。



外国でしか味わえないような本格的なインドカレーとチジミは人気を博し、留学生たちは多くの来店者と交流することができました。なお、模擬店及びフリーマーケットの売上はSAISUAを通じて寄付し、留学生の支援に充てました。

《地域の小学生との交流活動》

日時：平成26年3月11日（火）

場所：会津若松市立一箕小学校

国際戦略本部が企画・運営する国際交流活動の一つとして、会津大学の留学生が携わった一箕小学校3年生の総合的な学習の時間に、SAISUSAが支援を行いました。

留学生たちは、中国、スリランカ、セネガル、キルギスといったそれぞれの出身地を紹介するとともに、小学生たちと外国語による挨拶の練習に取り組み、交流を深めました。活動では盛んに質問が飛び交い、留学生たちは楽しい時間を過ごすことができ、小学生たちに海外の文化に触れてもらうことができました。

